

変わらない心と、あたたかい心

とらや東京ミッドタウン店ギャラリー 第27回企画展

とらやの筆「古郡達郎の書」

とらや東京ミッドタウン店は、和菓子だけではなく、和の様々な魅力や価値も広くお伝えしたいという想いから、ギャラリーを併設し企画展を開催しております。

企画展概要

名 称： とらやの筆「古郡達郎の書」
場 所： とらや東京ミッドタウン店内 ギャラリー
(東京都港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア地下1階)
会 期： 2012年12月19日(水)ー2013年3月18日(月)
時 間： 11:00~21:00(店舗営業時間と同じ)
※無休(元日は除く。東京ミッドタウン休業日に準じます。)



日本文化のひとつと言える「書道」。今回は、小倉羊羹「夜の梅」をはじめ、とらやの商品パッケージの菓銘(菓子の名)等の揮毫(筆で書画をかくこと)に、約50年携わられている古郡達郎氏とともに、「書」をテーマとした企画展を開催します。

本企画展では、これまでに書いていただいたとらやの菓銘の書や、あらたに制作していただいた篆刻(※)などを展示いたします。また、和菓子・日本・平和を連想させる「和」という文字を、書体・筆を変え48通りに表現された圧巻の作品など、様々な角度から「書」の奥深さをご紹介します。

あるときは美しく、あるときはダイナミックに表現される古郡達郎氏の「書」の世界をお楽しみください。

※篆刻とは：木・石・金などに印をほること。刻す文字が篆書であることから「篆刻」といい、現在ではこの他の書体(隸書・楷・行・草・仮名)を刻すことも篆刻という。

■ 企画展限定商品 ■

会期中、本企画展にちなんだ限定商品を販売いたします。

特製干菓子『松竹梅』(12個入 1箱1,470円)

慶事の象徴と言える「松」「竹」「梅」をかたどった干菓子です。古郡達郎氏が揮毫した「松竹梅」を配した限定パッケージにて販売します。

販売期間：2012年12月19日(水)ー2013年3月18日(月)
(商品がなくなり次第終了となります。)



「布字(石に朱で逆文字をいれる)」

■ 協 力 ■

ふるごおりたつろう
古郡達郎氏

書家。保多孝三に師事。1959年より書道をはじめ。全日本書道教育協会理事、毎日書道展会員、日本書道美術院審査員を経て、現在は朝日カルチャーセンター千葉講師に従事する。揮毫に「花の百名山」(NHKエンタープライズ21)の題字・山の名・花の名・ナレーション名、「万葉かるた」(万葉かるた振興会)の札文字など。日展入選4回 個展1回(大黒屋ギャラリー)

取材に関する問い合わせ先

株式会社 虎屋 経営企画部 広報課 担当：馬場

E-mail: kouhou@toraya-group.co.jp